



# NIAふれあい掲示板

ことし えほう  
今年の恵方は



とうほくとく  
東北東!



## NEWS 2月号



### ◆NIAの予定 2月、3月◆

2月 3日 (月)、5日 (水)

2月 6日 (木)

2月23日 (日)

あすなる会 折り紙

世界の料理教室 タイ料理

場所・時間/菊田公民館 10時～ 講師/草間カンヤパク 学習者(水)

文化交流部会主催 ミニバスハイク 房総 御宿ぐるり旅

平成26年2月1日発行  
習志野市国際交流協会  
日本語教室部会  
vol.28

### ◆学習者紹介◆

- ① 名前 (学習 曜日)
- ② 出身 国、都市
- ③ 趣味
- ④ 一言
- ⑤ 担当日本語ボランティア



- ① ルイス アルトゥー-R. ブリト (月)
- ② メキシコ、メキシコシティ
- ③ ベースギターをひくこと
- ④ ロボットの博士になりたい。  
(千葉工業大学でロボットを研究中)
- 日本語をしゃべれるようになりたい。
- ⑤ 原田 益次



- ① 王 秦英 (水)
- ② 中国、甘肅省
- ③ 餃子作り、カラオケ、ボウリング
- ④ 昨年の3月に日本に来ました。  
娘の家族と一緒に住んでいます。
- 一緒に旅行に行けて楽しいです。
- ⑤ 舘向 智美



- ① 缶吉 リサ (土)
- ② ブラジル、クリチバ
- ③ パソコン、読書
- 動物が好きでオカメインコを飼っています。
- ④ 高校に合格して高校生活を楽しまたい。
- ⑤ 後藤 美貴子



### ◆新年茶話会 1月15日～20日◆

1月15日(水)、16日(木)、18日(土)、20日(月)の各曜日に新年茶話会が開催されました。

参加者は学習者65名、日本語ボランティア86名の合計151名(昨年124名)で、新年にふさわしい交流の場となりました。私が参加した20日(月)は初めに日本のお正月の文化や遊びについて説明があり、会場にはそれらに関する品も飾られていました。その後、恒例となったビンゴ大会が始まると、司会者が番号を読み上げる度に歓声があがったり、溜息がもれたり。ビンゴになった学習者から順に豪華な賞品をもらい、皆の前で今年の目標や希望などを発表しました。

日本語が上手になりたい、日本人の友達が欲しい、家族が健康で過ごせますように、と願う人が多かったようです。発表が終わると担当ボランティアの自己紹介、その後、平成25年度の日本語ボランティア養成講座を修了した新しいボランティアの自己紹介がありました。最後に何人かの学習者に自分の国でのお正月の過ごし方を聞いてみたところ、ほとんどの国で家族が集まり一緒においしいものを食べてのんびり過ごすとのことでした。この点は万国で共通しているんですね。今年もよい一年でありますように。(山)



日本のお正月の遊び



自己紹介する新しいボランティア



今年の目標を思い思いに書く学習者



盛り上がるビンゴ大会の様子

◆**世界のお正月**◆  
～スペイン編～



カルメン モレノ 学習者(月)



スペインのお正月(イ)とは、大晦日(おおみそか)の夕食(ゆうしょくご)後に家族(かぞく)皆がテレビ(テレビ)の前に集まって、マドリードにあるプエルタ・デル・ソル(ひるぼ)という広場のカウントダウン(なまちゆうけい)の生中継(なまちゆうけい)を見ながら、1分間にブドウ(ぶどう)12個の皮(かわ)と種(たね)を除いて食べる習慣(しゅうかん)があります。12時になるまでに12個食べ終わることができれば、運(うん)がいいと言われてい



大晦日のプエルタ・デル・ソル

ます。この習慣(しゅうかん)は1909年から一般的(いっぱんてき)に始まりました。ヴァレンシア(バレンシア)のブドウ(ぶどう)の収穫(しゅうかく)が過剰(かじょう)だったことがきっかけ(きっか)けと言われていますが、貴族(きぞく)の間では18世紀(せいき)からすでにその習慣(しゅうかん)があったようです。その後(のち)、友達(ともだち)と一緒にどこかへ出かけたり(いっしょ)で遠くまでパーティー(パーティー)をします。朝(あさ)になるとホットチョコレート(ホットチョコレート)とチュロス(チュロス)を食べたりして過(す)ぎします。



～ネパール編～



ミラ サヒ 学習者(月)



ネパールには、さまざまなカースト(みぶんせいど)(身分制度)があり120以上の民族(いじょう)がいますから、独自の暦(みんぞく)で異なる日(どくじ)にお正月(こよみ)を祝(こと)います。陰暦(いんれき)を元にしたヴィクラム暦(もん)という暦(れき)がおもに使(こよみ)われていて、ネパールの公式(こうしき)のお正月(こよみ)は4月14日前後(まへ)です。首都(しよと)カトマンズ周辺(まわり)に住んでいるネワール族(しゅうわん)の正月(しゅうわん)は10月から11月になり、お祭り(まつり)や行進(こうしん)、見世物(みせもの)や集まり(あつ)などが、あちこちで催(もよお)されます。人々(ひとびと)はお正月(しゅうわん)休みの間に旅行(りょこう)したり、家族(かぞく)が集まってプゼント(プレゼント)やカード(カード)を贈り(おくる)あったりして新年(しんねん)を過(す)ぎします。



お正月の料理



新年を祝うパレード



ネワール族の伝統的な太鼓の演奏

～中国編～



劉丹 学習者(水)



中国(ちゅうごく)の正月(しゅうわん)は春節(しゅんせつ)といい、4000年以上歴史(ねんじょうれき)がある伝統的(でんとうてき)祭り(まつり)です。家(いえ)では家族(かぞく)が集まり、餅(もち)や餃子(ぎょうざ)などのおいしい料理(りょうり)を食べ、家族(かぞく)団欒(だんらん)で祝福(しゅくふく)します。新年(しんねん)が明けると爆竹(はくちやく)をならしたり、獅子舞(ししまい)や龍踊(りゅうおどり)をしたり、賑やかに祝(いわ)います。中国(ちゅうごく)と比べると日本(にほん)の正月(しゅうわん)はとても静かだと思(おも)います。

中国(ちゅうごく)の一番(いちばん)大きいテレビ会社(てれびかいしゃ)「中央TV」のお正月(しゅうわん)番組(ばんぐみ)「春節 聯歡晚会」では、中国(ちゅうごく)の有名(ゆうめい)スターと世界的(せかいてき)な大スター(だい)などが出演(しゅつえん)します。漫才(まんざい)やマジック(マジック)、歌(うた)や踊り(おどり)を見ることが出来ます。



元旦(がんたんいこう)以降(いご)はみんな新しい洋服(あたら)を着(よ)ます。特に新しい靴下(くつした)を必ず履(かな)いて、正月(しゅうわん)の祝(いわ)いの言葉(ことば)を交(かわ)します。3日は嫁(よめ)いだ娘(むすめ)が夫(おとこ)とともに子供たち(こども)を連れて、実家(じっか)に挨拶(あいさつ)に行(い)きます。5日は休(やす)んでいた店(みせ)などが爆竹(はくちやく)をならしから開店(かいてん)します。私は北(きた)の出身(しゅしん)なので北(きた)の話(はなし)しかできません。中国(ちゅうごく)は広いので土地(ち)によって風習(ふうしゅう)や料理(りょうり)が違います。



◆**日本語ボランティア養成講座を受講して**◆ 後藤 美貴子 日本語ボランティア(土)



「えー！！日本語(にほんご)ってそんなに難しい言葉(むずかしいことば)だったの？」いつもの夏(なつ)よりとても暑い(あつ)、8月(ががつ)第1回(かいめい)の講座(こうざ)が終わった時(とき)の私(わたし)の感想(かんそう)でした。今まで私(わたし)はペラペラ日本語(にほんご)を話(はな)してきたのに、なんと知らないこと(こと)が多(おほ)かったことか。しかし、講座(こうざ)が進むにつれて、今(いま)まで自分(じぶん)にとってあたりまえの日本(にほん)という国(くに)や文化(ぶんか)、そして日本語(にほんご)についてたくさんの新しい発見(あたら)がありました。再認識(さいにんしき)することもできました。言葉(ことば)は「正確(せいさく)さ」「文法的な正し(せい)さ」だけでなく、「自然(しぜん)さ」も大切(たいせつ)なことがわかりました。そしてなにより、日本語(にほんご)を教えるということは、日本(にほん)にいながらにして色々な外国(いろういこく)の文化(ぶんか)に触れることができるので、それも楽しみになりました。「こんな私(わたし)が本当に日本語(にほんご)を教えられる？」と不安(ふあん)もまだ少しありますが、講師(こうし)の吉田先生(よしたせんせい)は「教えるのに一番(いちばん)大切なのは、寄り添う心(よきそなうこころ)と笑顔(えがお)です。」とおっしゃいました。笑顔(えがお)があ…それなら私(わたし)にもできそうです。